

2019年10月号 ぴらたんニュース



～宗旦狐～

京都にちなんだ
話題をお届けします
京 style



京都には狐にまつわる伝説が多く残されていますが、今回は相国寺(しょうこくじ)に伝わる狐の話です。相国寺には 千利休の孫、宗旦(そうたん)に化けた狐が祀られている宗旦稲荷があります。この狐、寺の茶会で宗旦に代わって見事なお点前をやってのけた事から、宗旦狐と呼ばれました。この偽者の宗旦が茶を点てた後その場を去ると、本物の宗旦が遅刻を詫びながら登場するという事が何度か起き、弟子達はある日、偽者の宗旦を問い詰めました。すると偽者の宗旦は、寺に住み着く狐であると白状し、狐の姿に戻り逃げ去って行きました。しばらく経つと宗旦狐は、坐禅をしたり托鉢に行くようになり、寺のために尽くしました。時には門前の家で碁を打つ事もあり碁に熱中していると尻尾が出てしまい、相手が「宗旦さん、出てますよ」と言うと、尻尾を引っ込めたといいます。ある時、門前の豆腐屋がやりくりがつかなくなると、宗旦狐が蓮の葉を採って来てくれました。それを売って大豆を仕入れるお金ができた豆腐屋は、お礼に狐の好物である鼠の天ぷらをご馳走しました。しかしその天ぷらを食べた途端、宗旦狐の神通力が無くなり、銀色の毛の老狐の姿を現してしまいました。近所の犬達に追われた宗旦狐は、相国寺の藪の中に逃げ込みましたが、古井戸にはまって死んでしまったそうです。宗旦狐の死を哀れんだ寺の人達は、小祠を建てその霊を祀りました。人を化かした いたずら者とはいえ、多くの人達から愛された宗旦狐。宗旦稲荷で手を合わせていると、境内の藪からひょっこりと顔を出すかもしれません。



学校の象徴に欠かせない **学校旗**

消防団の士気に欠かせない **消防団旗**

勝利の証に欠かせない **優勝旗**

【取扱商品】

応援団用品 のぼり 染め旗 横断幕 のれん 手拭い ハッピー
太鼓 祭礼幕 ちょうちん 神社仏閣幕 神社のぼり 社名旗
鈴緒 劇団幕 マーチングバンド横幕 タスキ 腕章
ピンバッジ 缶バッジ ワッペン 演台カバー



株式会社 平岩

〒604-0907 京都市中京区河原町通竹屋町上ル大文字町 241

TEL : 075-222-1041 / FAX : 075-222-0843

MAIL : web@kyoto-hiraiwa.co.jp

※ 配信停止をご希望の方はお手数ですが
「配信停止」と記入いただき、ご返信ください

今すぐ
アクセス! **京都 平岩**